

みんなで考えよう ハマのハコ

号外

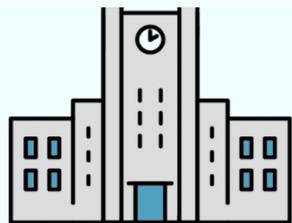
ハマ ハコ 横浜の公共建築物のこれからを考えるニュースレター

ハマ:横浜市
ハコ:公共建築物

一斉に老朽化を迎え、今後、保全や再整備が必要となる横浜市の公共建築物。
市民のニーズの変化や財政負担への対応など、様々な視点から公共建築物の「これから」を考えていきます。

これからの公共施設について、 皆さまのご意見をお聞かせください!

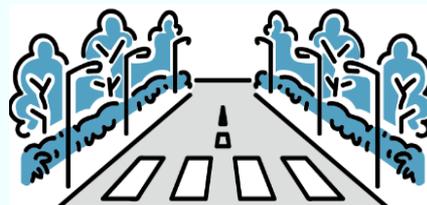
横浜市公共施設等総合管理計画（素案）を公表します。



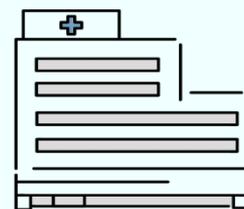
学校 etc.



地区センター、スポーツセンター etc.



道路、道路照明灯 etc.



病院 etc.

何のための計画？



今後、人口減少や高齢化の進展等により
財政状況がより一層厳しさを増すことが見込まれています。
近年は自然災害の増加、脱炭素化社会、DXの推進など、
社会背景も常に変化していく中、公共施設の老朽化は着々と
進行しています。



このままでは、今ある公共施設を維持していくことでさえ、
困難な状況になる可能性があります。

その一方、建替えなど、更新の検討時期を迎えつつある施設も
あります。



このような状況においても、
将来にわたり、公共施設によるサービスの提供を維持するため、
公共施設等総合管理計画を策定します。



どんな内容？



主な内容をご紹介します。



■ 公共施設の保全や更新のコスト

2021年からの45年間にかかるコストの見込みは、
約7兆6,900億円、1年当たり約1,700億円、

2021年度予算水準(約900億円)の約1.9倍と大幅に増加 (一般会計ベース)

■ 目標の設定

将来の人口が現在から2割近く減る見通しであることを踏まえ、

・目標耐用年数

公共建築物は築70年以上、インフラ施設は築100年以上(RC造)

・公共建築物の規模効率化の目標(総床面積)

2040年度には基準時点(2021年度末)以下に縮減、

2065年度には基準時点から少なくとも1割縮減

■ 主な公共施設の適正化の方針

施設の類型ごとの方針として、「**公共施設の適正化**」を図るための方向性を示します。

【意見募集期間】

令和4年9月27日（火）から10月26日（水）まで

【（仮称）横浜市公共施設等総合管理計画（素案）URL】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/kokyo/minna/sogokanri.html>



【ご意見の提出（電子申請システム）】

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/5320e9c0-e0a0-4a69-a06b-a765e55552df/start>



※その他、電子メール・郵送・FAXでもご提出いただけます。

ご意見をお待ちしております！



公共建築物を長く使っていくためには、保全や再整備が必要ですが、市民ニーズの変化や財政負担への対応など様々な視点から再整備等を検討していきます。

令和4年10月

横浜市 財政局 公共施設・事業調整室 公共施設・事業調整課

電話：045-671-2027 ファクス：045-651-7599 メールアドレス：za-kokyo@city.yokohama.jp